

私は耳が不自由です
戸田市議会議員 無所属 41歳
心の声が聴こえる街へ

たかのぶ 佐藤 太信



↑
バリアフリー
実現!

HPはコチラ!



- 昭和55年5月18日生 ●2歳の頃に失聴 ●戸田東小学校卒 ●戸田東中学校卒 ●県立浦和商業高校
- 中央大学法学部卒 ●大正大学院修了(臨床心理学) ●CAオーロニカレッジ留学
- 東京電力入社(安全管理業務) ●児童福祉施設(社会福祉法人)
- 都内ろう学校(スクールカウンセラー、乳幼児教育相談)

【所属】戸田市身体障害者福祉会会長、福祉で災害ネットワーク会長、戸田市聴力障害協会
 【資格】臨床心理士、第二種電気工事士 【座右の銘】継続は力なり
 【家族】妻(バイオリニスト)、猫5匹 趣味:温泉めぐり、マラソン
 【発行】佐藤太信 〒335-0034 埼玉県戸田市笹目5-4-15 TEL/FAX 048-494-6439

ホームページ

<https://satotakanobu.com/>

メール

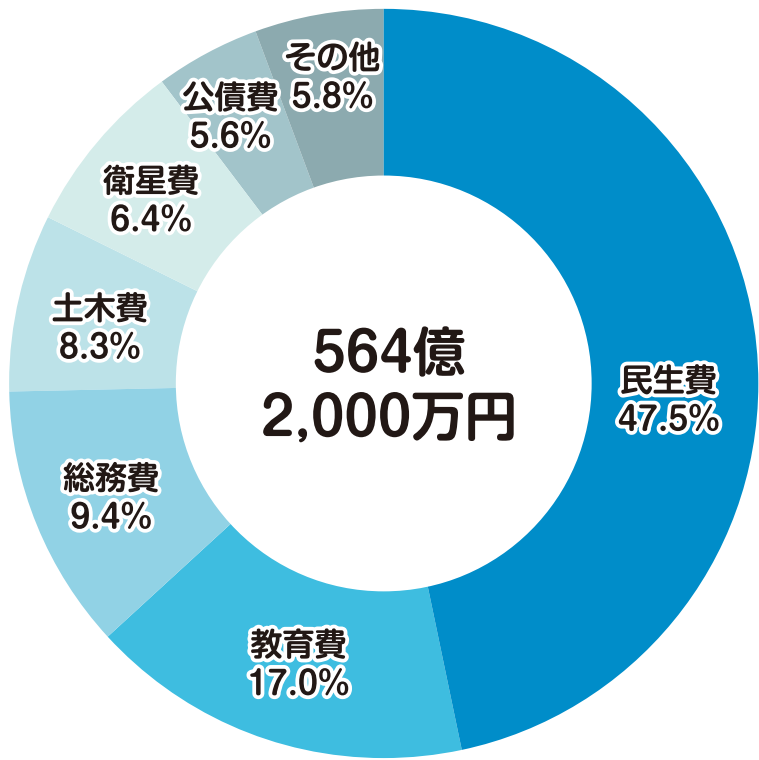
info@satotakanobu.com

ご挨拶

暖かい季節となってきました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。市長選挙では、現職の菅原市長が引き続き、市政を担っていくこととなりました。私が所属している市議会会派「戸田の会」も市長と連携をとってまいります。新型コロナの影響は収束する気配はなく、市民の皆様が安心して生活できるよう経済対策、ワクチン接種の環境調整をしっかりと進めてまいります。今後ともご意見いただけたら幸いです。

令和4年度一般会計予算

歳出



令和4年度の新しい取り組み

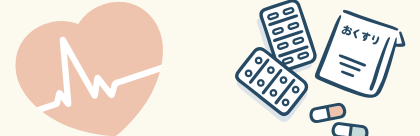
子ども医療費現物給付 県内全域に拡大 4,594万円

●これまでの子ども医療費の現物支給は、戸田・蕨市内の医療機関が対象となっています。今後の現物給付の対象となる医療機関の範囲は埼玉県内全域に拡大します。



保育所における医療的ケア児への 支援事業 392万円

●市内保育所等で恒常的な医療的ケア(人工呼吸器による呼吸管理、喀痰吸引その他の医療行為)を受けることが不可欠である児童に看護師等が医療的ケアを実施する制度です。



町内会館無線LAN 設置補助618万円

●自治会活動のデジタル化、子どもから高齢者まで集える場の創出及び地域活性化を目的として、全町会館等に無線LANを設置するための費用を補助する制度です。



おくやみコーナー 設置事務費 63万円

●遺族の方に寄り添い、手続きの負担軽減を図るため、主要な手続きをワンストップでおこなうことができる窓口を市役所内に設置する制度です。



庁内収納キャッシュレス化業務 1,572万円

●市役所窓口での証明書交付手数料の支払い等においてキャッシュレス決済に対応した機器を導入する制度です。



実現しました!!

戸田駅西口 屋根設置



当該場所は、令和3年3月議会での一般質問では戸田駅西口駅前の屋根設置について、車椅子、ベビーカー利用者などがバスやタクシーに乗車する際に傘をささずに通行できるようにと提言しました。屋根の設置は当初計画にありませんでしたがバリアフリー基本構想策定のための「まち歩き」により車椅子利用者からの要望があり、追加いただきました。

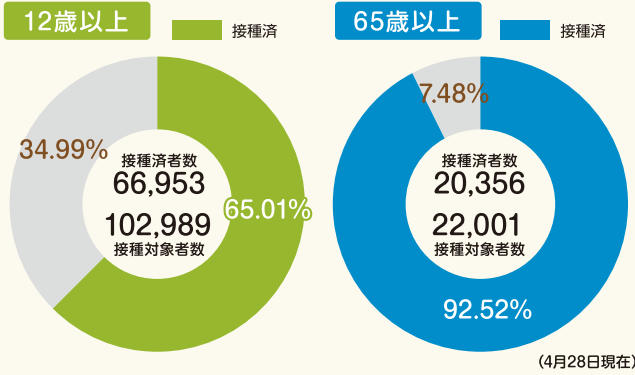
音響式信号の設置



新曽新田交差点、本町交差点に音響信号が本年3月に設置されました。視覚障害の方からご意見をいただき、昨年からの県議を通じて埼玉県警に相談、実現しました。

ワクチン接種の現状
3回目接種率

接種率が徐々にあがっております。
接種後は、感染リスクが低いと言われております。
私も先日、3回目の接種を終えました。



戸田市長選

市長選挙を終え、菅原市長は2期目の市政運営となります。
私が所属する会派「戸田の会」は今後も引き続き市長と連携してまいります。



美女木北歩道

子どもや高齢者がつまづきやすいと地域の方からご意見があり、一部段差が解消されました。



シェアサイクル

シェアサイクル実証実験が3月9日より始まりました。市役所はじめ、駅や公園にシェアサイクルの貸出・返却拠点のステーションの設置が今後も進みます。「HELLO CYCLING」のアプリより全国どこでも貸出・返却が可能です。



ウクライナ人道支援募金

戸田公園駅にて人道支援募金を実施しました。戦争は悲しみしか生まれません。恒久的な平和を望みます。5月26日まで戸田市役所さくらバルにて募金箱が設置されています。



気になる
提言

12月定例会(議会)一般質問

1 視覚障害者の情報保障について

Q 音訳CDの存在を知らない視覚障害者がいる。視覚障害者の情報保障についての広報紙や市ホームページに掲載を。

A 視覚に障害がある方に対する音訳CDなどの情報保障については、転入時、手帳取得時、障害福祉サービスのプラン作成時など、相談事業所や障害福祉課の窓口で周知していく。広報戸田市や市ホームページへの掲載について実施する。

Q パソコンやスマホを保有していない方への配慮は。

A 市民全員に配布するような印刷物については、音声コードを添付するなど、視覚障害者への情報保障に配慮するよう庁内に周知する。

※音声コードは、紙に掲載された印刷物を音で取得することができます。写真のように、視覚障害の方が触覚によりコードが把握できます。



●読書環境の整備について

デジプレイヤーを所持している近隣自治体は利用可能などところが多く、戸田市も利用できるように改善を要望しました。

※デジプレイヤーは、視覚障害者や印刷物を読むことが困難な方のために作られたデジタル録音図書を聞くための再生機器です。



※デジプレイヤー

●日常生活用具の給付について

音声読み込みソフトの給付が一生に一回となっており、見直しを要望しました。

Q 視覚障害者の日常生活用具は、情報・意思疎通支援用具がある。一生に一回の給付となっている用具があるため、見直しを。

A 障害等級要件や耐用年数については見直しを含め検討する。



佐藤の
視点

私たちは視覚から自然と様々な情報に触れ、そのおかげで情報の取捨選択ができます。しかし、視覚障害の方は情報の取捨選択が限定されています。市役所全体として「誰一人取り残さない取組み」を望みます。

2 財源の確保について

戸田市の歳出として扶助費が全体の3割を占めています。扶助費とは社会保障制度の一環として私たちの生活を支える経費です。62.8億円(2006年度)に対し165.8億円(2020年度)と約2.6倍強の増加となっている。今後の新たな行政サービスを提供できるようにするために財源の確保が課題となっています。

●債権確保の状況について

Q 収納率の現状、及び向上策は。

A 個人住民税の収納率は、令和2年度決算では95.4%(現年課税及び滞納繰越分)、県内63市町村中62位。令和3年1月にスマートフォン決済アプリを導入、納税者の利便性を高めていく。

●新たな財源の創出について

今後の人口減少を見据えた財源確保は重要である。以下、4点の事業提案をする。

1. 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術補助金について、県の補助金が令和4年度で終了する。自ら財源を確保していくクラウドファンディングの実施を。

2. 子育てしている方からポートルース戸田にあるモーヴィなど市全体の遊び場がわかりやすいパンフレットがあると嬉しいとのこと意見を伺う。企業広告などを募集し、写真を多く掲載するなど遊び場を集約したパンフレットの作成を。



3. 庁用車の車体にスペースがあり、企業広告の掲載を。

4. 企業広告による財源確保と下水道事業のイメージアップの視点から、マンホール広告の導入を。



佐藤の
視点

戸田市は既存の事業による毎年の固定費は90%を超えており、新規事業が難しくなっています。財源を確保していく取り組みは、市民サービスの充実につながります。今後、市として考えていかなくてはならない課題だと私は考えます。

最後までお読みいただきありがとうございます。市政に関する、皆様のご意見・ご要望をお聞かせください。

メール info@satotakanobu.com TEL/FAX 048-494-6439

